

船舶事故調査報告書

令和3年6月23日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	養殖施設損傷
発生日時	令和2年2月12日 08時30分ごろ
発生場所	宮城県仙台塩釜港仙台区 仙台沖防波堤東灯台から真方位097° 1.2海里付近 (概位 北緯38° 15.6′ 東経141° 05.6′)
事故の概要	プレジャーボートブルーロマンス2は、北北東進中、養殖施設に進入し、同施設が損傷した。
事故調査の経過	令和2年2月20日、主管調査官（仙台事務所）を指名原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート ブルーロマンス2、6.6トン
船舶番号、船舶所有者等	250-10291福島、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	本船 なし 養殖施設 ロープに切損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 1、視界 良好 海象：波高 約0.5m
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、知人2人を乗せ、約25ノットの対地速力で手動操舵により北北東進中、仙台塩釜港仙台区内に設置された養殖施設（以下「本件養殖施設」という。）に進入し、推進器に本件養殖施設のロープが絡まった。 本船は、船長が海上保安庁に救助を要請し、海上保安庁から要請を受けて来援した地元の漁船の乗組員によって絡んだロープが解かれたのち、自力で帰港した。 船長は、本件養殖施設の存在を知らなかった。
分析	本船は、北北東進中、船長が、本件養殖施設の存在を知らずに航行していたことから、本件養殖施設に進入し、同施設のロープが損傷したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、北北東進中、船長が、本件養殖施設の存在を知らずに航行していたため、本件養殖施設に進入したことにより発生したものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・船長は、事前に航行予定海域に対する水路調査を十分に行い、養殖施設等の設置場所を把握しておくこと。